

空き家、移住・定住促進対策などで意見次々

決算議会後の議会報告会始まる

9月の決算議会が終わって、市議会では11日、18日に市内4会場で議会報告会・意見交換会を開くことにしました。11日は三郷公民館と浦川原コミュニティプラザで開催されました。

私は浦川原コミュニティプラザで行われた会を傍聴してきましたので、そこでの様子をお知らせします。

一般市民の参加者はわずか9人でした。でも中身が良かったです。5人が次々と発言、市議会が今後、力点を置くべきいくつかの課題を再認識させられました。

そのひとつは空き家対策と定住促進についてです。安塚区からやってきた参加者の1人は、「国勢調査で安塚も5年間に400人減った。危機感もっている。民間で移住者支援の活動を始めている。(中山間地などへ)移住したいと思った時、多くの人にはインターネットを見る。(上越市のもとは)外の人が見てもウエルカム(歓迎)という感じではない。空き家バンク見ると、危険空き家が主眼になっていて、外のピル、アール、こういた方がい、というも、のを入、る。外、だ。外、の、か、ら、の、人、が、見、て、ど、う、思、う、か、と



危険空き家が主眼になっていて、外のピル、アール、こういた方がい、というも、のを入、る。外、だ。外、の、か、ら、の、人、が、見、て、ど、う、思、う、か、と

いうことを重視してほしい。建築住宅課ではなく移住担当の方でやるべきではないか(大要)と発言しました。これを受けて、議会側は4つの常任委員会の担当者全員が答弁に立ち、この問題を今後深めていくことが確認されました。

このほか出された主なものは要援護世帯除雪費助成額の増額、鳥獣被害対策の強化、国宝太刀、「山鳥毛」の購入と展示時期などでした。

18日の議会報告会・意見交換会の様子は次号でお知らせします。

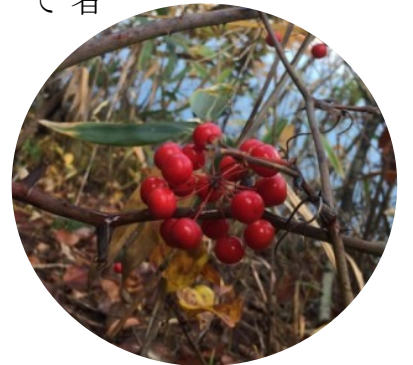
人口減少対策特別委でも移住・定住対策で活発な議論

市議会人口減少問題調査対策特別委員会(平良木哲也委員長)が14日開催されました。昨年、市議会が行政側に提出した提言にもとづいて議論が行われました。

そのなかで注目されたことのひとつは移住・定住支援についてです。提言では、「お試し住宅」として入居可能な市営住宅や空き家を短期間、低料金で提供することに提起していました。

市営住宅をお試し住宅として活用することについて建築住宅課長は、「市営住宅は964戸あるが、空き室となっているのは50戸、そのうち合併前上越市の区域では22戸、13区では28戸だ」「公営住宅は基本的に低所得者向けのもので、お試し住宅となると用途廃止をかけていく必要がある、難しい」とのべました。

現在、上越市に「お試し住宅」は大島区板山、吉川区大賀、板倉区寺野、柿崎区下牧に4か所あります。この利用状況です



【サルトリイバラ】サルトリイバラ科の多年草。漢字で「猿捕茨」と書きます。いま、山野でこの赤い実が目立ちます。確かにトゲはありますが、これで猿が捕まえられるかどうかは疑問です。写真は吉川区にて撮影。



写真は上越市のほくら園の祭りで展示されていた岩野和子さんの押し花作品です。

が、自治・地域振興課長によると、平成27年度は全体で33人が利用されたという事です。ただ、これが実際の定住につながったかどうかは確認しておらないということで、委員からはもっとPRし、しっかり実態を把握するよう指摘されていました。

12月定例議会は

来月1日からの予定

12月定例市議会は来月1日に招集される予定です。詳しい日程は22日の議会運営委員会において決まります。

今定例議会では新年度予算編成方針や新斎場建設計画などをめぐって議論が行われる予定です。来年秋の市長選を前に事前の動きが活発化してきていますが、村山市長が再出馬について言及するかどうか注目されます。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1783 2016.11.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

Kさんが絵を描き始めたという情報を私に伝えてくれたのは元教員のHさんでした。どうということから絵の話になったのかは記憶していませんが、Hさんが見たKさんの絵の印象は、とても繊細で、きれいだということでした。しかも描いている絵は野の花だということでした。そう言われると、とても気になります。いつかKさんの絵を観てみたいものだと思いました。

Kさんは私と同じく六〇代半ば過ぎの人です。写真愛好家であり、野の花については他の追随を許さない素敵な写真をたくさん撮っておられます。それだけに、写真とは別に絵を描いているということに強い関心を抱きました。

選挙も一段落した先日、Kさん宅を訪ねました。コーヒーを出して私に勧めた後、すぐに持ってきてくださったのは、マルマの小さなスケッチブックです。

手で広げてみてびっくりしました。一つひとつの花がじつに丁寧に描かれていたのです。例えばナデシコ科のガンピ(岩菲)。葉が対生となっていて、ところや葉のギザギザ、花びらの切れ具合などが正確に描かれていました。これだけ丁寧に描いてあれば、花の名前がわからなくて調べるときに十分役に立ちます。まさに「野の花図鑑」といってよいでしょう。

スケッチブックは、私に見せてくださったものだけでも四冊にもなります。描かれていたものはヤマユリ、ツユクサ、リンドウ、ヒヨドリバナなどいずれも私が普段、目にするものばかりです。ツユクサの絵を観た時、青い花自体が持っているかわいらしさ、ひょうきんさなどがよく出ているので驚きました。草花の特徴をしつかりつかんで、絵を描く。一枚の絵を描くには相当な時間がかかっているはずで、四冊ともなると、すごい時間になりますね。スケッチしている場所を訊いてみると、

私がよく散歩に出かける農道や池の周りなど共通のところがあるのもありました。それだけに、描かれている野の花には強い親近感を覚えました。

いまも咲いている秋の野の花、センブリは今年はまだでなくなりました。花を咲かせていますが、花のつきぐあい、茎の分岐の仕方などスケッチされたものは私が見たものとまったく同じ花を描いたのではな

いかと思うくらい似ていました。Kさんの絵の特徴の一つは茎や根などの線がとてもしっかりしていて、美しいことです。花ではないところでも美しさが出ているのはいいなと思つたので尋ねてみると、思っていた通りでした。Kさんは線にこだわりを持って描いていたのです。子どもの頃からオオバコがたくさん根が気に入って描いてきたとかで、そうしたらところが今回のスケッチにも出てくるんですね。

スケッチブックの中でKさんが最後に見せてくださったものは、シダの葉の絵でした。この絵には短い言葉も添えられていました。じつはこの絵、絵手紙として出そうとしたものなんだそうです。でも、描き上げた段階で「これは下手だ」と思い、出さずじまいになってしまったのだとか。このシダの絵、私は観た瞬間、傑作だと思いましたが。というのも、シダの葉の周りが太陽の光を受けて、普段なかなか見ることのできない美しい色合いで描かれていたからです。それだけではありません。この絵を観ただけで涼しさを感じるのです。絵は夏に描かれたものでした。

Kさんが絵を描き始めたきっかけはお孫さんが使い残したクレヨンだと言います。いいものを残してくれましたね、お孫さんは。クレヨンを毎日のように使つて描いてくることで、本人のお気に入り作品も出てきました。この調子だと、Kさんの写真にも影響が出るかも知れません。

ふるさとを思う心は一つ。東京吉川会、今年も賑やかに

第24回東京吉川会総会が13日、東京は四ツ谷、スクワール麹町でありました。東京、神奈川、千葉、埼玉などから約60人の会員さんが集いました。地元からも小林総合事務所長、まちづくり吉川の加藤会長など

10数人がマイクロバスに乗って出かけました。

会では平山勇会長が挨拶、会の歴史や酒祭りでのふるさと訪問などの活動について語りました。総会には土橋副市長も駆けつけ、最近の上越市の様子を伝えるとともに、地域おこし協力隊募集や(株)よしかわ杜氏の郷などへの協力を訴えました。また、まちづくり吉川の加藤会長が地元吉川で名杜氏の石碑を訪ねる活動や尾神岳のトンネルをめぐる活動などについて生き生きと伝え、集まった人たちの注目を集めました。

第2部の懇親会、あちこちで懐かしい再会がありました。私も代石出身のY子さん、村屋出身のY子さんなどたくさんの方から声をかけていただき、いっぱい話ことができました。

うれしかったのは多くの方が「選挙、良かったね」と喜んでくださったことです。春の市議選、そしてこの間の県知事選、みなさん、心配してしてくだ

さったんですね。

下町出身のSさんは、「母が亡くなったけど、実家に帰ると母からいつも橋爪さんの『春よ来い』を見せてもらった」と教えてくださいました。川谷出身のKさんはご夫婦で参加。持参された紙には吉川区、大島区の簡単な道路地図が書かれていました。その地図を使って、どこでどうしたという懐かしい話をいくつもされました。私からは久保の縦の道を歩き、角間に行き、母の実家へ行ったことを話をすると盛り上がりちゃって……。吉井出身のSさんとも再会できました。お母さんが亡くなって以来の再会でした。Sさんは東京吉川会初参加でした。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月9日(水)	11月16日(水)
上越南消防署	0.043	0.050
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.057	0.047
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.057	0.050
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.050

